

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、自らの街のことを語れる子ども』

取組目標

～守ろう地域のたから 育てよう故郷を愛する子どもたち～

今年度の取組紹介

【『史跡散策』（計画どおり実施）】

地域の特徴を活かした『史跡散策』は今年で5年目となるメインの取組みで、今年度は「薬師寺」を見学しました。



【小学校交流ボッチャ大会】

今年度は、新しい取り組みとして、二小の交流を目的としたボッチャ大会を中学校で開催し盛況でした。

【学校園の授業サポート・図書ボランティア活動】

福祉体験授業（車イス体験）・わかばふれあいレストランや家庭ボランティアのサポートや地域探訪時の見守りは地域の諸団体にも協力を得て実施しました。

図書ボランティア活動は本の読み聞かせや英語カードの作成など幅広い活動を展開しました。



【広報紙「京チュン通信」(3回/年 計画どおり発行)】

地域で決める学校予算事業や放課後子ども教室事業の内容を多くのひとに知ってもらい理解してもらうための「京チュン通信」は多くのコーディネーターが関わって写真や原稿を準備して作り上げています。

【世界遺産学習全国サミット】

今年度、奈良市で開催された世界遺産学習全国サミットで、京西中学校区の取り組みを発表しました。



今年度のまとめ

- ・「史跡散策」は“地域を知ることができる”取組みとして好評で定着しつつあります。
- ・小学校での活動がメインであった図書ボランティアの活動が中学校・幼稚園でも展開できるようになり、奈良市の司書さんの協力もあり、図書室に来る子どもが増えてきました。
- ・「京チュン通信」は子どもたちや地域の皆さんにも好評で発行を心待ちにする人が増えています。

来年度に向けて

- ・来年度も地域・家庭・学校が連携・協働して子どもたちを育成する活動を推進します。
 - ・『継続は力なり』と考えており、今年度の取組みをメインに内容をステップアップさせながら、「史跡散策」「授業支援」「京チュン通信の発行」などの活動を地道に取り組んでいきます。
- そして、ボランティアの輪を広げ、サポートが必要な場面で必要な支援ができる組織をめざします。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

学校を美しく ところを豊かに 挨拶が響き合い
互いの思いを語り合える学校に

今年度の取組紹介

- ・第11回京中オープンスクールでは、～学ぼう地域の方々から・考えよう生き方～と題して、地域の方々が自分の職業やキャリアに即した授業を行っていただき、生徒たちは楽しく学習させていただきました。

本年度は、新しく2名の地域の先生方を紹介いただき、講義内容の幅も広がりました。

- ・学習支援活動では、福祉体験の講師として、また図書ボランティアや本の読み聞かせなど取り組みの内容に深まりが出ました。

- ・昨年度中止したふれあい作業は、校舎内の壁のペンキ塗り・ガラスふき作業を行いました。生徒と保護者・地域の方が、学校の美化活動を行うことで交流が深まり、学校を大切にする意識も強まりました。



今年度のまとめ

- ・多くの事業が定着し、生徒や地域にも受け入れられています。

地域の皆さんが温かく見守り、時には一緒に活動してくださることで、生徒の心の中に学校愛や地域愛が生まれつつあるように思えます。挨拶がしっかりできる生徒が多くなり、朝から元気な声が響いています。

来年度に向けて

- ・各取り組みが、生徒・保護者・地域の皆さんに深く浸透していることがうかがえます。マンネリの活動にならないように工夫を行うとともに、地域の方々が参加してよかったと思っただけの活動方法を模索したいです。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもち、まちを誇れる子ども

取組目標

命こそ宝、地域も宝、宝を活かそう！**【今年度の取組紹介】**

- ・ 本年度で5年目の家庭科の実習（調理やミシン作業）サポートボランティアさんは、今年も欠くことのできない存在でした。リアルタイムで、高学年の子ども達の質問に、担当教員と同じ応答をしていただき、安心安全な空間を醸し出してくださいました。
- ・ 低、中学年の子供達には、環境整備（種植えや委員会活動）活動のサポートや、七輪を使った昔の暮らし体験の支援を、例年同様にしていただきました。そして何よりも、校区探検などの校外学習における交通安全指導（同行）は、教員と子ども達にとって、頼りがいのある大きな応援団でした。地域を知り、地域の人たちを知る。その人たちの熱い思いまで知ることができる。今年も、ありがたい学習時間でした。
- ・ 今年で3年目になった夏季休業中の「ふれあいペンキ塗り作業」。酷暑にもかかわらず、100人近くの地域の方と職員で校舎内の壁をきれいに塗り、子ども達へ気持ちの良い学習環境を整えることができました。ペンキに塗れながら作業を担われた皆さん、これこそ地域の力で、地域が宝です。

**【今年度のまとめ】**

- ・ 学校や子ども達のためにご尽力いただいている地域のボランティアさんをお招きして、感謝の気持ちを表す「ありがとう集会」。日ごろの感謝の場面を思い起こさせる朗読や写真紹介、それに加えて全校合唱など、いつも以上に会場が盛り上がりました。1月最初の登校日には、「あけましておめでとうございます。」と自発的に挨拶できた児童もいました。『感謝しなければならない』という姿勢（気持ちや態度）から、『感謝（挨拶を）したい』気持ちに変わる児童が増えました。

【来年度に向けて】

- ・ 今年から、熱中症対策の飲料については、ボランティアの皆さんご自身にお持ちいただいていたが、それだけでは足りない位に暑かったです。今後は「冬場であっても保水は大切」、ご参加いただくボランティアさんの安全、体調をさらに考慮した無理ないご参加をHPや広報紙で呼びかけていきます。ボランティアの皆さんの高齢化が進んでいます。保護者の皆さんからボランティアさんを増やすため、HPやプリントなどで広報活動を広げていきます。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、

自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

かしこく なかよく たくましく

伏見南で学んだことを誇れる子の育成～見つけよう 今の自分 未来の自分

【今年度の取組紹介】

地域 CN やふしニヤンの会の皆様と共に話し合いを重ね、「天の川の集い」「しめ縄づくり」「ふれあいの日の餅つき」「とんどの集い」などの土曜日活動を通してたくさんのボランティアから学校を支援していただくことができました。昔からの伝統行事を体験するだけでなく、地域の方とのふれあいを楽しむ良い機会となりました。また、地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、平和学習や防災学習、薬物乱用防止教室、ボッチャ体験など開催していただき、多様な学びを取り入れた教育を推進することができました。

毎週、図書ボランティアと図書館司書によるブックカバー貼りや図書室の環境整備、図書コーナーの設置、読み聞かせなど子どもたちが本に親しむ場を作っていただき、読書をするのが楽しいと感じる子どもが増えました。読書だけでなく、基礎学力向上のために漢字の学習にも取り組んでいただき、2月8日に本校での漢字検定も地域 CN が中心となり開催することができました。



【今年度のまとめ】

地域の方と共に体験的な活動を通して、子ども達の道徳的実践力を養い、自己肯定感を高めることができました。「豊かな心・人間関係力の育成」を目指し、地域の方をゲストティーチャーとして招き、キャリア教育の視点から様々な学習場面で体験的な活動を展開しました。こうした活動や登下校の見守り活動を通して、地域の方とのコミュニケーションをとる機会が多くなり、地域・学校・家庭が三位一体となって子どもの成長を見守っています。

【来年度に向けて】

地域の方の協力を得ながら、子どもたちの学びを深める体験活動や環境整備、子どもの見守り等を中心に取り組みを進めていきたいと考えています。今後、さらなる改善のために地域の方が学校教育に参画していただけるような学習場面を設定し、ゲストティーチャーや学習ボランティアとして参加していただけるような年間計画の作成を行うとともに新たな人材発掘をしていきます。

めざす子ども像

**『自らまちに誇りをもって、
自らのまちのことを語れる子ども』**

取組目標

**「こころとからだで感じられるこども」
～おもしろそう やってみたい できた喜び～**

今年度の取組紹介

○染め物教室では、地域の方の協力で園内に咲いたマリーゴールドや赤しそ、ヤマモモの実を使いジュース屋さん等の遊びを十分経験した後の染め物体験ということで取組目標の「おもしろそう やってみたい できた喜び」を実践することができました。自分たちが普段している花や実をすりつぶしてする色水遊びで面白いな不思議だなと感じていることが、形ある作品になったことで感動体験として子どもの心に残るものとなりました。またそれを運動会の鉢巻きや生活発表会の道具にして活用することができ、継続した経験となりました。

○運動遊びの会では、「なわとび」「フープ」を使ってからだをいっぱい動かす遊びを指導していただきました。子ども達が「こんな遊び方を見つけた」と伝えにいくと「すごいいね。みんなでやってみよう」とまわりを巻き込んだ声掛けをしてくださるので、健康な心とからだだけでなく認められた喜びや達成感、考えたり工夫したりする思考力が身についていきました。



今年度のまとめ

染め物教室や運動遊びなどでは、地域のゲストティーチャーに教えていただき、みんなで一緒に活動していくことの大切さや面白さを学ぶことができました。また、毎年継続している『菜の花プロジェクト活動』の中で、薬師寺や唐招提寺へ親子で幼稚園で採れた菜種油を奉納しに行ったとき、昔から変わらずにあるお寺の姿を見て、ある園児から「みんなが大事にしてきたからあるんやな」という言葉が出てきました。園児なりの「自らまちに誇りをもった活動」が地域や保護者の方々に協力していただきながらできたように思われます。

来年度に向けて

取り組みを地域や保護者に啓発、発信することで年々関心も高まり、子どもと共に参加して下さる人も増えてきています。地域との活動の中身もホームページや園内掲示で伝えていき、園児がいきいきとしている様子や地域の方と関わり、幼稚園・地域が活性化している様子を広めていきたいと考えています。子どもの好奇心は思考力の芽生えとなり、自信や意欲につながります。今後も様々な不思議との出会いを大切に、地域の方々と楽しい体験を増やしていきたいと思います。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを語れる子ども

取 組 目 標

いろいろな人や身近なものとの関わりを通して、心豊で
いきいきと活動する幼児を育てる。

今年度の取組紹介

【のびっ子クラブ ～健康な心と体を育てる～】

今年度より、日々の遊びだけでなくゲストティーチャーを招いた運動遊び「のびっ子クラブ」を年間計画に位置づけました。身近な道具や用具を使い、子どもたちの興味関心に合わせたいろいろな動きを取り入れながら、思い切り体を動かす楽しさを味わいました。子どもたちから日々の遊びにも取り入れられる姿も見られ、意欲的に挑戦したり活動したりする姿が見られるようになりました。



【お話ひろば ～いろいろな話に親しみ豊かな心を育てる～】

お話ひろばでは、定期的に地域コーディネーターの方やボランティアの方が園児に絵本の読み聞かせをして頂いています。子ども達はいろいろなお話に触れることで豊かな心を育み、聞く力にも繋がっています。また今年度は地域コーディネーターの方が小学校の図書委員会や図書ボランティアの方とも繋いでいただいたことで、小学校の児童絵本の読み聞かせを行ったり、保護者の方にブッカーによる絵本の補修作業を教えて頂いたりしました。

【すくすくクラブ ～未就園児親子と在園児の関わりを通して～】

未就園児「すくすくクラブ」では、今年度は活動内容を見直し、年間11回から13回と回数を増やし、在園児との交流の機会を増やしました。回数を重ねることで保護者から離れることのできなかった未就園児が在園児と一緒に遊ぶ姿が見られるようになり、互いに良い刺激となっています。

また、地域ボランティアの方が毎回、活動がスムーズにできるように手伝っていただいたり、子どもたちや保護者の方と関わったりしていただくことで、未就園児、園、地域の繋がりを共に感じる事ができています。



今年度のまとめ

核家族が多い子ども達が、地域の方、小学生、年下の子等、様々な年代の方と触れ合う機会を意図的、継続的につくり活動してきたことで、愛情や親しみを感じ身近な人と意欲的に関わろうとする姿が見られるようになりました。様々な活動にいきいきと参加し、事業を通して子ども達の心や体の成長に繋がり、保護者の方からの関心が高いです。

来年度に向けて

地域の方々の協力や支援により、子どもたちが地域を知り、人との関わりを広げ、豊かな経験ができています。今後も継続しながら、目指す子ども像に向けて地域、保護者、幼稚園の連携を密にし園活動の更なる充実に繋げていきたいと思っています。